

1. 研修会名：人材育成セミナー 「エンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム」
2. 日時：平成28年 8月27日(土), 9月3日(土) 各日9時~18時
3. 会場：富山大学医学部看護学科棟2階 22教室
4. 参加者：22名
5. プログラム：

	開始時間	終了時間	所要時間	内容	形式	担当
8/27 (土)	9:00	9:50	50	M1：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護	講義	泉
	10:00	11:00	60	M2：痛みマネジメント	講義	中屋
	11:10	12:10	60	M3：症状マネジメント	講義	長戸
	13:00	13:10	10	アイスブレイキング	演習	柳原 中屋・長戸
	13:10	14:40	90	M1・2・3：ケーススタディ		
	14:50	15:50	60	M4：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題	講義	浦上
	16:00	16:45	45	M5：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮	講義	河上
	16:45	17:00	15	M10：目標シートの説明 まとめ、アンケート記入		山本 八塚・村上
9/3 (土)	9:00	9:50	50	M9：高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	講義	荒木
	10:00	11:00	60	M7：喪失・悲嘆・死別	講義	村上
	11:10	12:00	50	M6：コミュニケーション	講義	平木
	12:50	14:20	90	M6：ロールプレイ	演習	河上 平木・村上
	14:30	15:20	50	M8：臨死期のケア	講義	金澤
	15:30	16:10	40	M10：質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成	講義 演習	山本
	16:10	16:25	15	まとめ、アンケート記入		八塚・山本

## 第4回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを開催して

実行委員長 村上真由美

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを開催して4年目となりました。企画責任者の八塚先生をはじめとする4名の指導者と何度も集り、検討してきました。企画するにあたり、「おもてなしのこころ」を大切に県内の指導者と共有し、ファシリテーター会議だけでなく、メーリングリストを通じて進捗状況を確認しあい準備し、今年は、在宅療養を支援する訪問看護師の方々を受講しやすいよう、日程を考慮し開催しました。

2日間の長丁場であり、かつケーススタディやロールプレイなど内容が濃いプログラムでしたが、受講者の皆様は真剣に受講してくださいました。また休憩時間にファシリテーターや受講者が楽しそうにおしゃべりする場となり交流も図ることができ、和気藹々とした雰囲気の中でプログラムが進んでいきました。最後のモジュールでは、これまでの学びを行動目標・計画ワークシートに書き、1年後の自分の目標を見据えてエールを送りあいました。そして、受講者22名全員が無事修了することができました。今後、病いを患う人々が自分らしい人生を生き抜くことができるよう、本プログラムを修了した看護職が中心となり質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを実践してくださることを期待しています。

受講者アンケートからは、概ねこのプログラムに参加して良かったと高い評価を頂きました。今後さらに質の高いプログラムとなるように取り組んでいきたいと思えます。本プログラム開催に際し、ご尽力くださいました多くの皆様に心より感謝致します。

### 講師一覧

富山赤十字病院	がん看護専門看護師	村上 真由美 (実行委員長)
八尾総合病院	緩和ケア認定看護師	金澤 厚子
富山大学附属病院	がん性疼痛看護認定看護師	中屋 留美
富山県立中央病院	がん性疼痛看護認定看護師	長戸 陽子
済生会富山病院	がん性疼痛看護認定看護師	柳原 照代
富山県看護協会	緩和ケア認定看護師	泉 理美子
医療法人財団ナラティブホーム	緩和ケア認定看護師	荒木 充代
高岡市民病院	緩和ケア認定看護師	河上 裕子
富山大学附属病院	がん看護専門看護師	山本 恵子
市立砺波総合病院	緩和ケア認定看護師	平木 葉子
厚生連高岡病院	がん性疼痛看護認定看護師	浦上 裕美

### 協力者一覧

光が丘病院	緩和ケア認定看護師	山本 裕美子
南砺市民病院	緩和ケア認定看護師	野原 良子
高岡市民病院	緩和ケア認定看護師	宮脇 真末
富山赤十字病院	集中ケア認定看護師	浅生 かおり

## 6. 参加者の感想

### 第4回 ELNEC-Jに参加し学んだこと

南砺市訪問看護ステーション 西野恵美

私は今回、初めてエンドオブライフケアの開催要項を見て、がんも含めた広義なテーマに興味を持ち参加させていただきました。

平成25年度に緩和ケア研修会 PEACEに参加したことがあります。医師を対象とした内容が主であり、やや難しいと感じたことを覚えています。今回は看護師に向けたエンドオブライフケアの教育プログラムとあって、また講師の先生方も看護師であることは、とても心強くわかりやすく講義いただいたと思います。その中でもワールドカフェスタイルで、グループワークや実例も含めた講義内容は、短い2日間ではありましたが、研修参加仲間と有意義な時間を過ごせたと思っています。

モジュール1:エンドオブライフケアにおける看護では多職種チームアプローチの考え方として、泉先生は、上下関係を生まないことが大事、看護師の視点で専門性をもって代弁者になることが看護師の役割だと言われました。私は現在、訪問看護師として退院前拡大カンファレンスに参加している中で、他職種は各々に専門性を持った職種で参加しています。では看護師は何の専門？何ができるのか？何をやる人なのか？となったとき、先生の言葉がその答えを見いだせたように感じました。

在宅において訪問看護を利用される方の中で、エンドオブライフケアの対象となる方は多くを占めます。そのため私たち看護師は、利用者を中心に家族やチームメンバーとの関係調整などをQOLのアセスメント視点より、多角的に捉えより深く知り、その人らしい生活を送れるように支援していくことだと再認識することができました。そのための5つのケアリングの要素は、とても大事であると学びました。

先月在宅死された利用者さんとの関わりの中で、はたして自分のとった行動はこれでよかったのか？利用者さんはそのとき既に自身の思いを言葉では表せない状況であったために、亡くなられたあとに不完全燃焼な自分がいることに気づきました。エンドオブライフケアを提供する看護師に求められる基本的態度として、患者と共にいること、何かをすることだけでなく、患者や家族と共にいることが重要である。どのような状況にあっても寄り添い続けると記された文言は、そのときの自分と重なり、これでよかったのかなとようやくそのときの自分を受け入れることができました。今後ケアリングの5つの要素についてこれからも鍛錬していくと共に、特に私は能力という要素を深めていく必要があると感じました。当ステーションでは、利用者さんが永眠されたあとにグリーフケアの一環としておくやみ訪問を行っています。モジュール7:喪失・悲嘆・死別でそのプロセスについて学び、看護師自身の悲嘆とケアについては新たな学びとなりました。私自身、エンドオブライフケアの関わりで緩和ケア認定看護師に相談し、また気にかけてくれていたことが励みになり、乗り越えることができたと思います。

そして現在、難病の利用者・その家族との関わりで、今回のこの研修で得た知識を基にそ

の人らしい人生を送れるよう支援していきたいと思っています。

最後に 1 年後の自分の具体的目標について設定することは、今まで患者さんの計画として目標と具体的計画を立ててきているのですが、自身において目標と具体的内容について考えたとき、やや苦慮しました。改めて看護師としての目標設定を明確なものにしていなかったと反省させられました。訪問看護師としてモジュール 10 にもあった質の高いエンドオブライフケアができるような看護師を目指して邁進していきたいと思います。有難うございました。この研修でお世話いただいた先生方、ボランティアの方々に深く感謝いたします。

#### 第 4 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムでの学び

南砺市訪問看護ステーション 辻 令子

今回、教育プログラムに参加していろいろな言葉を知り、その意味を理解して使いわけの技能が必要だと学びました。講義を受けて感じたことは、モジュールそれぞれの特徴を交えて臨床での体験談や事例を通して具体的な内容を盛り込み、例を引いてイメージしやすい内容で、振り返るときにも記憶に残るようなわかりやすい学習法でした。

そして、新たな知識と今までの知識を再確認しながら学びを深められたことが、大きな収穫になりました。日頃、仕事で何となく感じ取っていることや暗黙の知識で当たり前のように看護をしている行為において、根拠が明らかに見えてくる内容もあり、明日から使ってみようと前向きに思うことができました。

エンド・オブ・ライフ・ケアを学習し、人生の最終段階まで寄り添い支えるケアは個別の、その方の人生を共に歩ませて貰いながら必要な時は手を差し伸べて見守り、自分らしく最期まで生ききることを支える事と、考えをまとめています。

私自身、訪問看護を経験して悩むことの多くは、意思決定支援です。療養者とその家族等双方のかかわりの中で、病状の変化や介護負担が大きく変わってきたとき、在宅療養を継続していくのか、入院するのか決める場面が必ずあります。

意思を擁護する中で、療養者の思いとその家族等の思いの双方にずれが生じることが多く、療養者と家族・親族等の思い、介護者の大変さ、先の見えない不安や経済的負担等、いろいろな思いが絡み合い、看護師としてジレンマを感じることはしばしばです。それぞれの思いを尊重して、その時の気持ちの揺れに寄り添う姿勢、共有している思いを言葉にしていくことは大事なことで実感しています。聴く姿勢と共に、聴き手である看護師が時間を共有する心のゆとりも持ち合わせていなければ、話し手も心の奥を開くことは出来ないことをコミュニケーションスキルで再認識しました。

カリキュラムで学んだコミュニケーション力のプロセスをスタッフと共有し、高い実践に繋がるよう、事例を通して悩んだことや良かったことの振り返りを行いながら研鑽を積んでいきたいと思っています。

また、何度か耳にしたケアリングの要素について求められることを新たに学び、相手の反応を客観的な視点と主観的な視点で確認していつでも相手を敬う配慮を心がけ、支えて

いこうと思いました。看護ケアを提供するときはどう活かしていくかを意識しながら取り組みたいと思います。

療養者等の成長の過程から自身も成長させて貰っている日々の仕事を振り返り、この先も質のよい看護を提供していくために、学んだ内容をチームケア実践力の向上として図れるよう連携しながら取り組みたいと思います。有難うございました。

7. アンケート結果 (n=22 ただしモジュール 5, 6-4), 8-4), 10 については n=21)

	大変そう思う	ややそう思う	普通	あまりそう思わない	全くそう思わない
<b>モジュール 1: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護</b>					
1) 講義の内容はわかりやすかったですか	16	5	1	0	0
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につ ながると思いましたか	15	6	1	0	0
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	16	5	0	1	0
4) 講義の内容に関心・興味が持てましたか	15	6	1	0	0
<b>モジュール 2: 痛みのマネジメント</b>					
1) 講義の内容はわかりやすかったですか	17	3	2	0	0
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につ ながると思いましたか	12	9	1	0	0
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	15	5	2	0	0
4) 講義の内容に関心・興味が持てましたか	15	5	2	0	0
<b>モジュール 3: 症状マネジメント</b>					
1) 講義の内容はわかりやすかったですか	16	4	2	0	0
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につ ながると思いましたか	14	7	1	0	0
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	16	4	2	0	0
4) 講義の内容に関心・興味が持てましたか	17	3	2	0	0
5) ケーススタディは講義の内容を理解する上で参 考になりましたか	16	5	1	0	0
<b>モジュール 4: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題</b>					
1) 講義の内容はわかりやすかったですか	16	4	2	0	0
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につ ながると思いましたか	14	7	1	0	0
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	15	5	2	0	0
4) 講義の内容に関心・興味が持てましたか	17	3	2	0	0
<b>モジュール 5: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮</b>					
1) 講義の内容はわかりやすかったですか	16	4	1	0	0
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	13	8	0	0	0
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	16	4	1	0	0
4) 講義の内容に関心・興味が持てましたか	15	6	0	0	0

	大変そう思う	ややそう思う	普通	あまりそう思わ ない	全くそう思わない
<b>モジュール6:コミュニケーション—患者の意志決定を支えるために—</b>					
1)講義の内容はわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
2)講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	17	5	0	0	0
3)講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
4)講義の内容に関心・興味が持てましたか	18	3	0	0	0
5)ロールプレイは講義の内容を理解する上で 参考になりましたか	15	7	0	0	0
<b>モジュール7:喪失・悲嘆・死別</b>					
1)講義の内容はわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
2)講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	17	5	0	0	0
3)講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
4)講義の内容に関心・興味が持てましたか	18	4	0	0	0
<b>モジュール8:臨死期のケア</b>					
1)講義の内容はわかりやすかったですか	17	5	0	0	0
2)講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	18	4	0	0	0
3)講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	16	5	1	0	0
4)講義の内容に関心・興味が持てましたか	16	5	0	0	0
<b>モジュール9:高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア</b>					
1)講義の内容はわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
2)講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	15	7	0	0	0
3)講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	17	4	1	0	0
4)講義の内容に関心・興味が持てましたか	17	5	0	0	0
<b>モジュール10:質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成</b>					
1)講義の内容はわかりやすかったですか	15	6	0	0	0
2)講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決 につながると思いましたか	13	8	0	0	0
3)講義で使用したスライドはわかりやすかったですか	15	5	1	0	0
4)講義の内容に関心・興味が持てましたか	16	5	0	0	0

---

**全体:**

---

	大変そう思う	ややそう思う	普通	あまりそう思わない	全くそう思わない
I. 本プログラムを受講して、‘エンド・オブ・ライフ・ケア’の重要性が理解できましたか	19	3	0	0	0
II. 本プログラムの内容は、あなたの期待をどの程度満たしましたか	16	6	0	0	0

---

## 自由記載

## 一日目

・ケーススタディでは自分が気付かなかった視点で患者さんの事を考えられていたことに学びを感じました。「なぜ」という疑問を常に持っていたい。頭の中をニュートラルにして、いろいろな方々と関わっていきたくて思いました。価値観はそれぞれ異なり患者さんはどうされたいのか、どう寄り添えばよいのか、普段の看護と照らし合わせて考えていきたい。

・どのモジュールも日々の仕事を振り返る機会であったり、今後参考にできる者も多く参加させていただいてよかったです。外国の方へのエンドオブライフケアへは今回初めて学ぶ機会になりました。

・ファシリテーターの方々お世話ありがとうございました。ゆっくりと他の施設の方々の話が聞けて良かったです。充実していました。

## 二日目

・訪問現場で自分がどう対応していけばよいか分からない事例がたくさんあり、知識を深める上でも今回参加させていただいた。なかなかすぐには実践できないかもしれないが振り返りを行い、特にコミュニケーションに自信がないのでスキルを(沈黙)身につけようと思いました。2日間にわたりありがとうございました。

・実戦での例や、実際の言い方、文字解釈について丁寧にお話しいただきとても理解しやすかったです。今までの経験の事も再確認したり、具言化して表現していただき腑に落ちる感じです。ありがとうございました。

・有意義なプログラムでした。2日間ありがとうございました。病院と訪問看護ステーションの看護師と一緒に学べたことに大きな意味を感じました。とても、よい情報共有ができました。